

平成21年12月2日

各 位

株式会社 三井住友銀行

### 国際紙パルプ商事株式会社に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、国際紙パルプ商事株式会社（代表取締役社長：赤松 恭夫）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じた社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった国際紙パルプ商事株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境保全対策の取り組みと成果の状況」面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの高い評価となりました。

特に、①経営トップの強いリーダーシップのもと、全社的な環境貢献活動に取り組まれている点、②「地産地消」の物流を掲げ輸送距離の短縮、直送・共同配送・計画配送の推進、混載便の活用などの効率配送を目指し、サプライチェーンマネジメントに環境配慮の視点を導入されている点、③製紙メーカーの実施するラオス植林事業へ取引先にも呼びかけ積極的に参画するなど、紙業界に対して環境配慮の啓蒙活動が行われている点などが高く評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価融資」により、環境配慮を進める企業の取り組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動をご支援して参ります。



①屋上緑化完成予想図



②ラオス植林風景



③環境関連商品